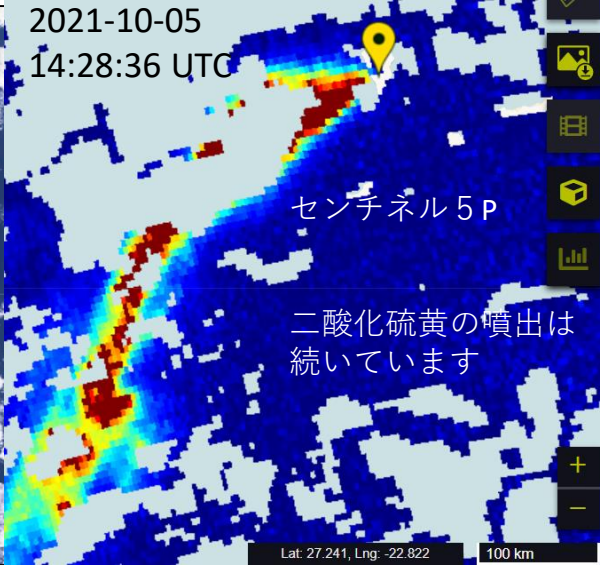
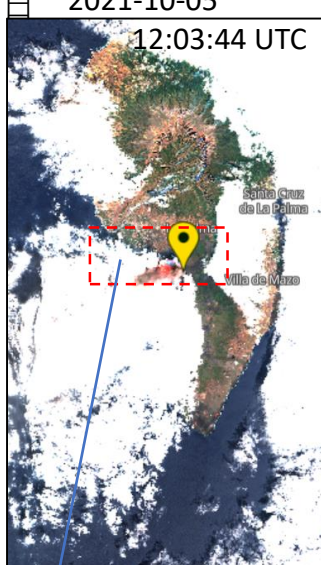


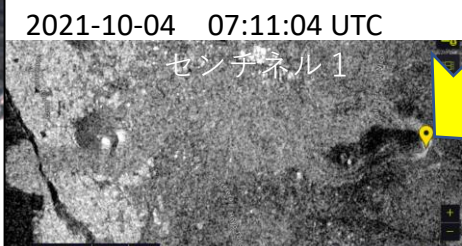
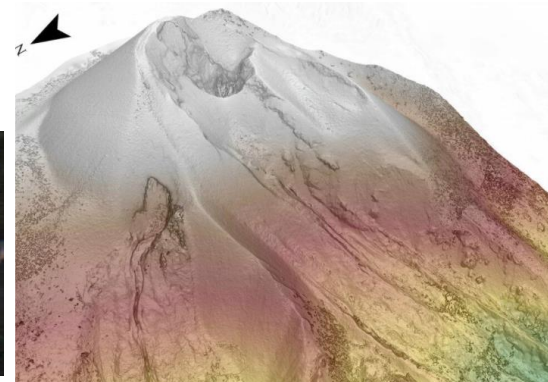
### クンブレビエハ火山

カナリア諸島のクンブレビエハ火山の活発な活動が続いています。9月19日に始まった噴火から3週間目に入っています。溶岩は海にまで流れ込んでいます。マスコミに登場していることが多くなっています。人的な被害が報じられない点ありがたいです。平穏な生活が早々に戻ることを祈念するばかりです。

5日毎に観測している、センチネル2が10月5日に観測しました。溶岩流の起点近くは観察できていましたが...。センチネル衛星群の全てはそろっていませんが、現在の活動の様子はある程度把握できつつあります。関係情報も少しずつわかってきました。EOブラウザ利用と衛星データ分析ソフトEISEIで元データを分析しました。



火口の新しいデジタルモデル \*方位に注意  
次ページで示している7つの噴出口の位置はどこになるか不明です



カナリア火山観測所、イタリアのINGVと研究協力しているそうです。

[https://twitter.com/pg\\_scarlato](https://twitter.com/pg_scarlato)  
@Pg\_Scarlato/twitter

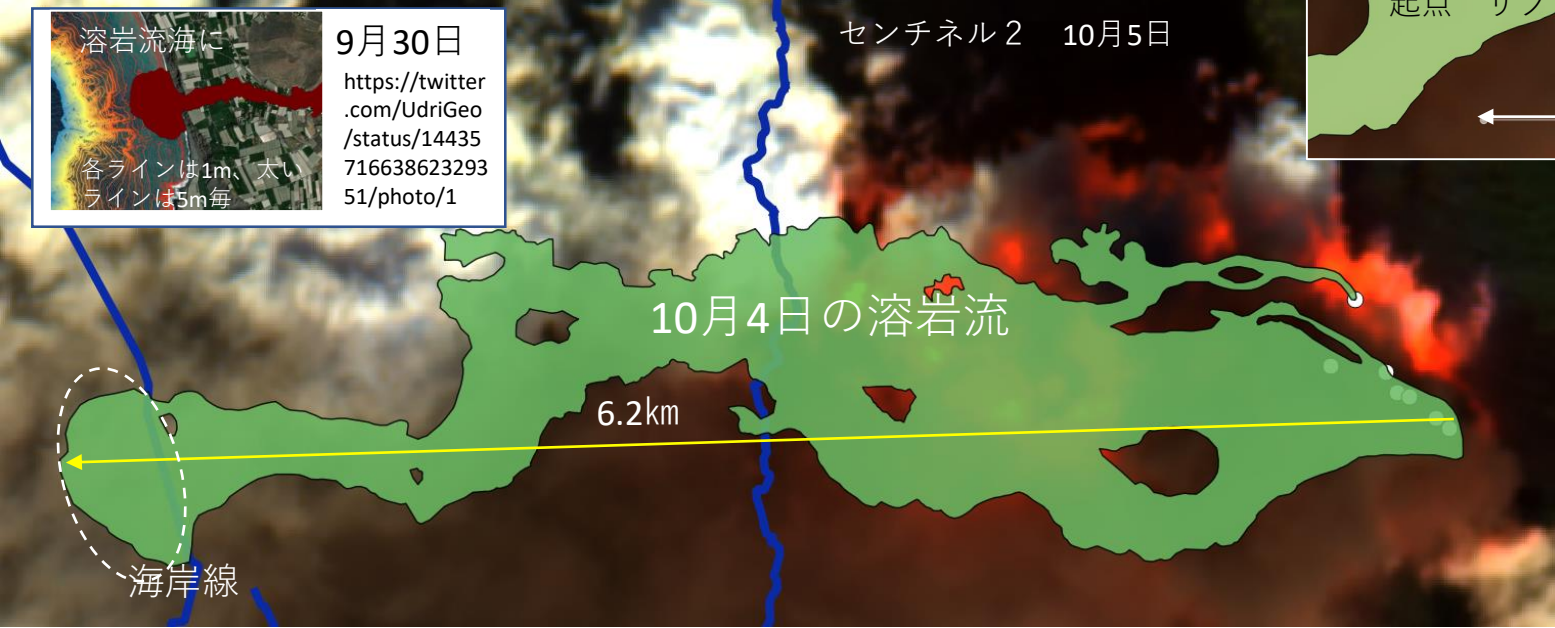


センチネル2の10月5日の観測時、あいにく雲がラパルマ島にかかっていました。

True Color + IR highlights (トゥルーカラー+IRハイライト) この色合成は、短波赤外線波長を追加することにより、真の色の可視化を強めています。それは赤/オレンジで加熱されたところを表示できます。火山の噴煙を分析できますし、マグマを検出することができます



2021年10月04日 14:41版Vector package:のJSON ファイルをQGISに出力  
<https://emergency.copernicus.eu/mapping/list-of-components/EMSR546>



位置情報をもったデータは重ねて調べることができます。  
 (「QGIS」を利用)  
 溶岩流に関する情報は広く公表されています。そのときセンチネル衛星群の観測データは積極的に活用されています。

\* 衛星データは©ESA